



まちだの新たな 学校づくり通信

Machida New School Project 2040

2022年11月15日発行

南成瀬地区

- 1頁 検討状況/児童への配慮
- 2頁 路線バス通学/安全対策
- 3頁 学校名(案)検討
- 4頁 学校施設需要調査

ともに学び、ともに育つ学び舎づくりを目指して

【発行】町田市教育委員会

新たな学校づくりを進めています!

南成瀬地区の検討状況をお知らせします!

「南成瀬地区新たな学校づくり基本計画検討会」の検討状況をお知らせします!

-第8回(2022.9.20)-

- ①報告書の内容確認
- ②通学の負担軽減
- ③通学路の安全対策
- ④新たな学校名

-第9回(2022.10.17)-

- ①報告書の内容確認
- ②学童保育
- ③特別支援学級
- ④路線バス通学における安全対策
- ⑤児童同士が合流する際の配慮

検討会の資料や議事要旨などは
こちらから☞



児童への配慮はどんなことをするのか?

児童同士が合流する際の配慮について意見交換しました

学校統合のときには、これまでの学校生活とは異なる人間関係、施設環境となるため、統合による負担を軽減できるような配慮を実施していきます。

教育委員会が実施を想定している児童同士が合流する際の配慮事項について情報共有し、意見交換を行いました。

■検討会での主なご意見

- ・地域での行事やイベントを学校で開催したり、児童にも参加してもらっている。統合を契機に一緒に何かできるといい。
- ・相談体制は手厚くやってほしい。
- ・統合前の教員が統合後も残ることや、統合後の数年間は教員数を増やすなどの配慮が必要
- ・統合により児童数が増えるため、中学校のように副担任がつくことや、専科の先生を増やしてほしい。

(参考) 教育委員会が実施を想定している児童同士が合流する際の配慮事項

項目	内容
児童同士の事前交流	合同授業、合同行事などの事前顔合わせにより統合時の不安を軽減する
相談体制	相談員を配置して子どもが相談できるようにする

※上記以外にも、教員配置など他市の事例も参考にしながら児童への配慮について実施を想定しています。

学校が遠くなる児童のために

路線バスでの通学も検討していきます！

町田市立学校は徒歩による通学を基本としていますが、学校の場所が変わったり通学区域が広がることで通学距離、通学時間が長くなってしまいう児童がいます。検討会では、そのような児童の負担をどうしたら軽減できるか検討してきました。

徒歩以外の通学手段として、教育委員会で検討している「路線バスが通学に利用できるかどうか」を判断するための考え方の視点で南成瀬地区の状況を調査した結果、路線バスを利用できることを確認したため、スクールバスなど他の通学手段は含めず、徒歩または路線バスでの通学を前提として、引き続き検討していくこととしました。

■教育委員会における主な検討項目と考え方

○通学時間

自宅から学校まで、路線バスを利用して30分程度で通学できるかどうか

○運行量

通学時間帯の路線バス本数が極端に少ない路線でないかどうか

○利用状況

通学時間帯の路線バスの混雑状況が、児童が通学に利用できる程度かどうか

■路線バス通学に対する主なご意見

- ・時間どおり乗れるか心配。1本乗り遅れたらどうなるか
- ・子どもがバスに乗ったか、目的のバス停で降りられたか確認できる手段が欲しい
- ・バス停の狭さが心配。
- ・社会勉強としてもバスの乗車方法を学んでいってくだらいいなとも思う。

新しい学校にも安全に楽しく通学できるように

通学路の安全対策について検討状況をお知らせします

前回の「新たな学校づくり通信」において、学校統合により新しく通学路になる可能性があるポイントについて、児童の登下校の時間を中心に検討会の委員の皆さんと現地調査を実施したことをお知らせしました。

今回は、現地調査の際に委員の皆さんから頂いたご意見を紹介します。

通学路の安全対策については、これらのご意見を踏まえ、新しい通学区域の通学路設定に向けて引き続き様々な関係者の皆さんと検討を進めていきます。

■現地確認での主なご意見

- ・歩道・路側帯が狭い
- ・店舗への出入りの車が危険
- ・（車・バイク・自転車の）交通量が多く危険
- ・バス・トラックなどの大型車が多い道路の横断が危険
- ・歩道を走る自転車が危険
- ・道が暗く歩行が危険、不審者も心配
- ・（カーブ・坂の頂上・植栽などで）見通しが悪い
- ・信号待ちスペースが狭い
- ・最短距離に横断歩道がない
- ・道路の片側を通学路にすべき
- ・周辺環境が通学路に適さない

新しい学校名なにがいい？

統合新設小学校の学校名（案）を検討しました！

学校名意見募集（2022.5.23～6.17 実施）で皆さまから 779 件の学校名（案）をお寄せいただきました。また、検討会では皆様からの学校名（案）を踏まえて意見交換を行いました。

学校名意見募集に寄せられた学校名（案）

学校名意見募集 上位 10 位（件数順）

No	読み仮名	合計	うち児童
1	なるせ	61	10
2	みなみだいに	60	4
3	みなみなるせ	49	16
4	なるせさくら	35	8
5	みなみなるせだいに	33	26
6	おんだがわ	32	20
7	さくら	28	20
8	かえで	28	24
9	さくらがわ	23	16
10	みなみかえで	19	16

「成瀬の地名を大切にしたい！」
「恩田川や桜がこの地域の特徴！」
こんな意見をもらったよ！



意見募集の結果を踏まえた検討会での学校名 3 案

■案① 成瀬小学校 ■案② 成瀬さくら小学校 ■案③ 成瀬桜小学校

意見募集の結果において、地名や自然（恩田川・桜など）に関するご意見を多くいただいたことから、上記のとおり、南成瀬地区の特色を踏まえた学校名の案を選定しました。

※検討会における議論の中では、旧校名を大切にしたいという意見や、新しい学校名にしたいといった意見が挙がりました。このような意見を重く受け止めたうえで、「どちらかの学校に吸収される。」という印象が残らないようにするため、旧校名については、3案を選定するにあたっての優先順位を低くすることとしました。

学校名選定に向けて

統合新設小学校の学校名については、上記の意見や、以下の「学校名を選定する際の教育委員会の考え方」に沿って教育委員会で 1 案を選定します。

なお、新学校名は、2023 年度以降に市議会の承認を経て、2025 年度からの使用を予定しています。

（参考）学校名を選定する際の教育委員会の考え方

- ①地名を大切に（地域内の川、山、丘、旧跡等も含む）
- ②難しい漢字は使わず、読みやすく、わかりやすいものとする。
- ③長い学校名とならないようにする。

学校でどんなことがしてみたい？

学校施設の利用需要調査アンケート結果速報

2022年8月15日～9月16日に統合・建替えの検討を進めている5地区を対象に実施した「学校施設の利用需要調査アンケート」では、新たな学校の特別教室等を使って行いたい活動や、ご家族やご自身で受けてみたいサービス等について伺いました。回答結果の速報をお伝えします。

たくさんのご意見
ありがとうございました！



■ 回答者数（人）

全体	児童	地域住民(未就学児の保護者)	児童の保護者	学校開放の利用団体	近隣の施設利用団体	地域住民(町内会・自治会)	地域住民(それ以外)
3,487	2,024	289	531	39	544	41	19

■ 主な回答内容

問：学校施設を活用して受けてみたいサービスは何ですか。〈選択回答〉

（回答者数：児童 2,024 人 児童以外 1,463 人）

児童

- 1位 スポーツの習いごと
- 2位 授業で分からなかったところや宿題を教えてくれる
朝ごはんや夕ごはんが食べられる
- 4位 スポーツ以外の習いごと
- 5位 スポーツではない体験ができるイベント

児童も大人も1位はスポーツの習い事だね。スポーツ以外にも習い事に対する需要が高そう。児童からはご飯提供も需要がある一方で、大人からは放課後のあずかり等の需要が高くなっているね。

保護者、地域の方、施設利用団体

<児童向けサービス>

- 1位 スポーツの習いごと
- 2位 スポーツ以外の習いごと
- 3位 学習塾
- 4位 学校が終わった後のあずかり
・見守りの延長
- 5位 文化イベント

<地域向けサービス>

- 1位 スポーツ教室
- 2位 文化イベント
- 3位 文化教室
- 4位 健康づくり教室
- 5位 子育て支援



問：学校施設のどの場所を使って何をしたいですか。〈選択回答〉（回答者数：905人）

活動場所

- 1位 体育館
- 2位 校庭
- 3位 多目的室（多目的ホール）
- 4位 音楽室
- 5位 家庭科室

活動内容

- 1位 屋内球技
- 2位 体操
- 3位 その他屋外スポーツ
- 4位 屋外球技
- 5位 ダンス
音楽（楽器）

現在も貸出をしている体育館が1位だね。運動できる場所が求められているのかも。

